

## 藤井寺市子どもの未来応援プラン～子どもの貧困対策推進計画～（案）についてのパブリックコメントの実施結果について

藤井寺市子どもの未来応援プラン～子どもの貧困対策推進計画～（案）についてのパブリックコメントを実施しましたので、その結果と提出されたご意見に対する市の考え方を公表します。

### 1. パブリックコメント実施状況

#### (1) 意見募集期間

令和5年1月11日（水）～令和5年1月31日（火）

#### (2) 提出者数及び件数

・提出者数 1名（うち要件等非該当数0名） ・件数 1件（ただし、ご意見の趣旨を踏まえ要約、分類しています。）

### 2. お寄せいただいた主なご意見と市の考え方

番号	お寄せいただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
1-1	プラン（案）拝見し、感じている困り事（子どもの居場所・学力に対しての不安）に対してのどのような手だてがあるのかが分かりにくいです。	市の様々な施策のうち、子どもの貧困対策としても有効だと考えられる教育や子育て支援に関する施策については、50ページから59ページの「4. 分野別の取組」の「主な施策」において、事業名・事業概要・担当課を記載したうえで分野ごとに整理していますので、ご確認をお願いします。 一方で、市民の皆さんが必要としている情報が伝わりにくいということに関しては、今年度実施した「子どもの生活に関する実態調査」からも改めて課題として認識したところであり、必要としている情報をより確実に届けられるよう、分野別の取組として「情報提供支援」を掲げています。 いただいたご意見を踏まえ、困難を抱えるご家庭が必要としている情報を取得しやすくなるよう、わかりやすい情報発信を行っていくことについて、情報提供支援に係る主な施策として位置づけることとして、計画を修正します。
1-2	また、学校の学童では、宿題をする時間があってもみてもらうことはできないですが、民間学童では、バイトの学生が宿題を教えたりしてくれます。 毎日だけでなくよいので、学校の学童でも、大学生などが指導員として子どもの宿題をみたり、教えてもらうようにはできないでしょうか。体を使う遊びも少ないと聞きます。 「民間」をもっと柔軟に活用できればよいと感じています。	放課後児童会では、「学習時間」を設けて児童が宿題などを自主的に行えるようにしており、児童が困った時にはアドバイスをするようにしています。 また、体を動かすことにつきましては、適宜運動場を使用し、「自由遊び」の時間を設けております。 そのほか、各校で放課後等に安全で安心な子どもの居場所づくりを推進するため、月に1～2回程度ではありますが、「放課後子ども教室」を開催しており、地域のボランティアの方々の参画や学校の協力を得ながら、「学びタイム」「遊びタイム」を通して学習・遊びの活動を実施しているところです。 さらに、ひとり親家庭等の児童・生徒（小学4年生～中学3年生）が対象となりますが、学習機会の確保や学習習慣の定着を図ることを目的に、民間事業者への委託により、「ひとり親家庭等学習支援事業」を実施しています。 様々な取組における効果的な民間活用につきまして、引き続き、市として情報収集及び研究に努めてまいります。